

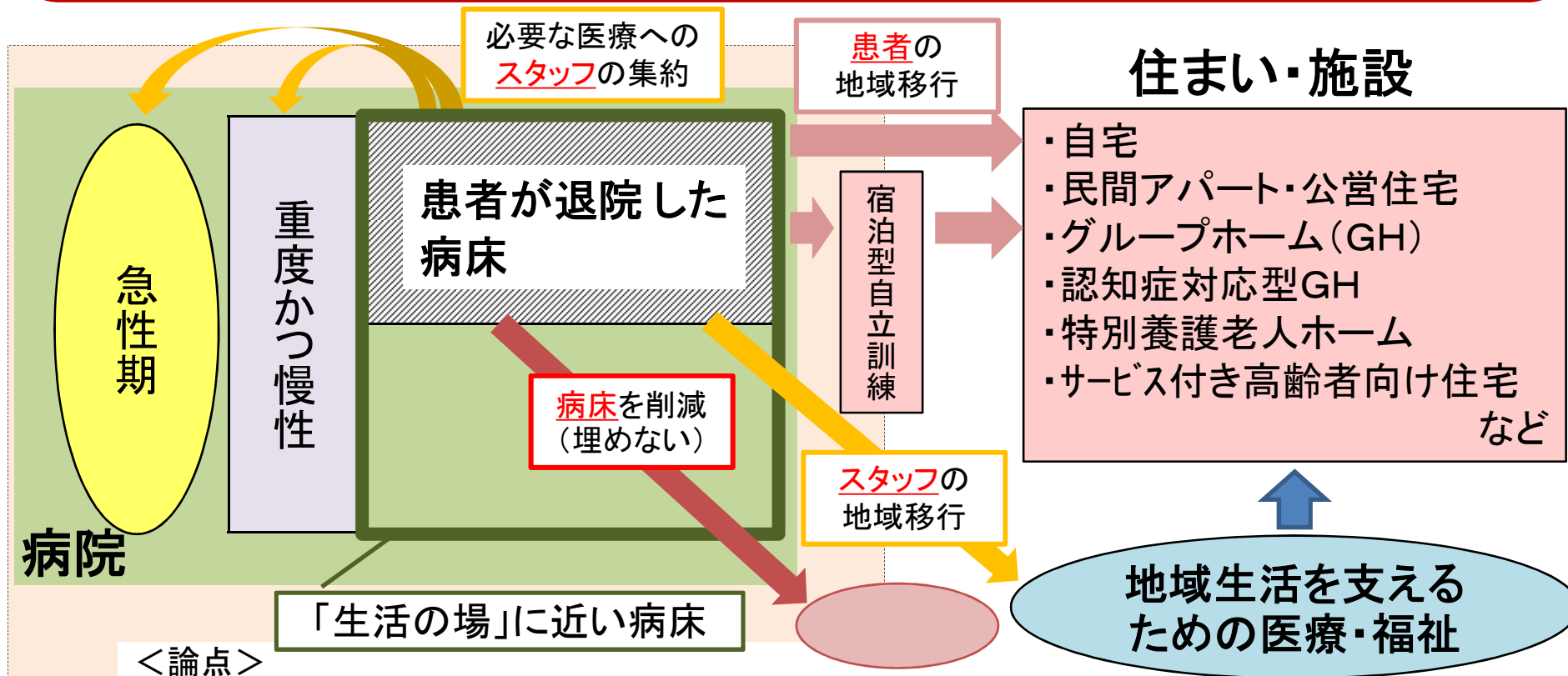
# 精神医療の将来像と具体的方策（これまでの議論の整理）

## <将来像>

- ◇ 長期入院者の地域移行を進めることにより、精神病床を適正化し、不必要となる病床を削減。
- ◇ 併せて、その資源を急性期病床や地域医療等、必要な医療に集約することにより、良質かつ適切な医療の体制を実現。

## <将来像実現のために必要な具体的方策>

- ① 本人に対する支援（ア-1、ア-2、イ）
- ② 病院が病床削減できるための財政的な方策等



## <論点>

- ※ 「生活の場」に近い病床、患者が退院した病床をどうするか。
- ※ 急性期等必要な医療への資源集中のためにどうするか。
- ※ なぜ、長期入院精神障害者の住まいの確保が難しいのか。

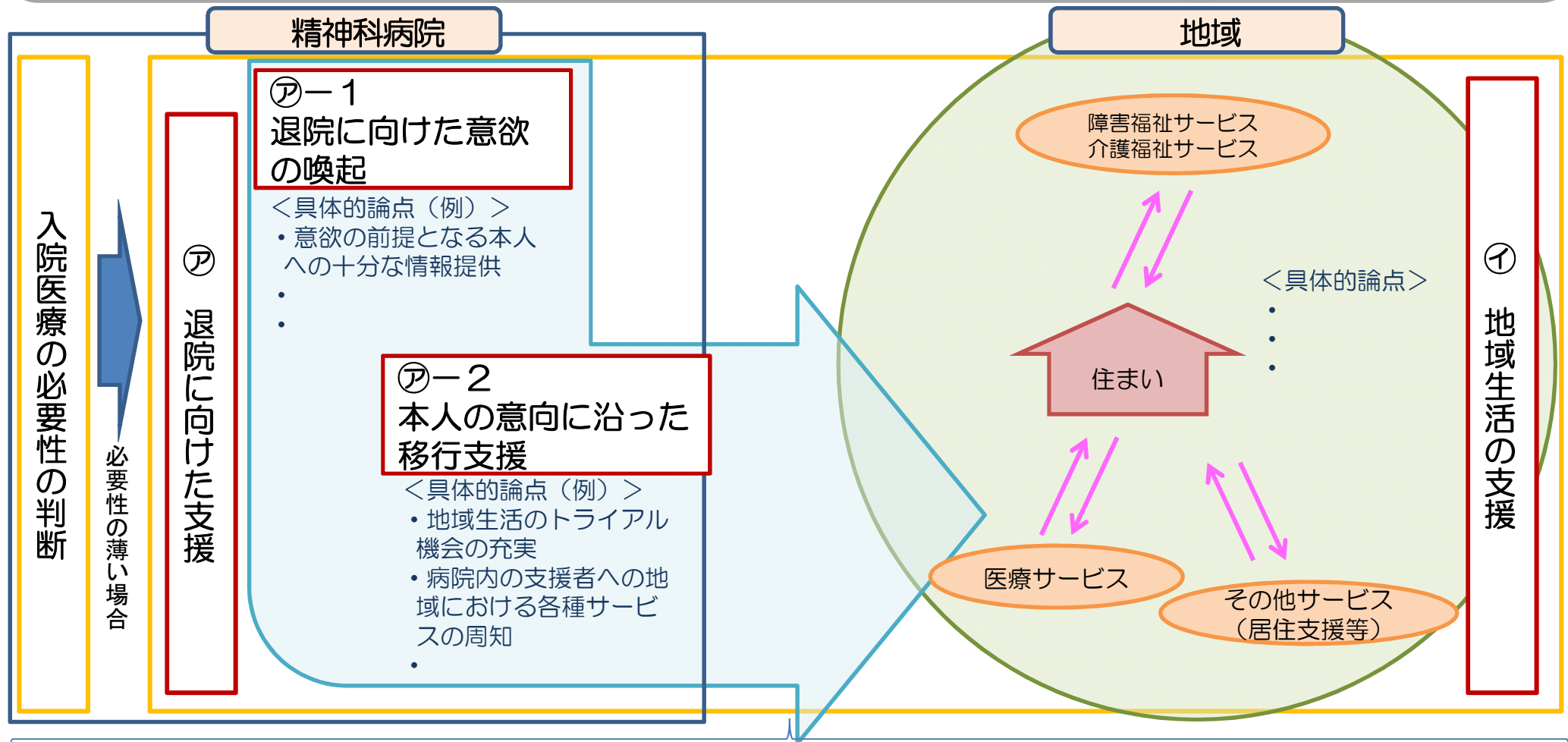
# 長期入院精神障害者の地域移行の流れ（イメージ）

## <検討の基本的考え方>

- ①長期入院患者本人の意向を最大限尊重しながら検討する。
- ②地域生活に直接移行することが最も重要な視点であるが、新たな選択肢も含め、地域移行を一層推進するための取組を幅広い観点から検討する。

○長期入院患者の属性（※）に応じて対策を検討する必要があるか。

（※）a.年齢、b.入院期間、c.援助の必要度 などが考えられるか。



地域移行を阻害する構造の見直し